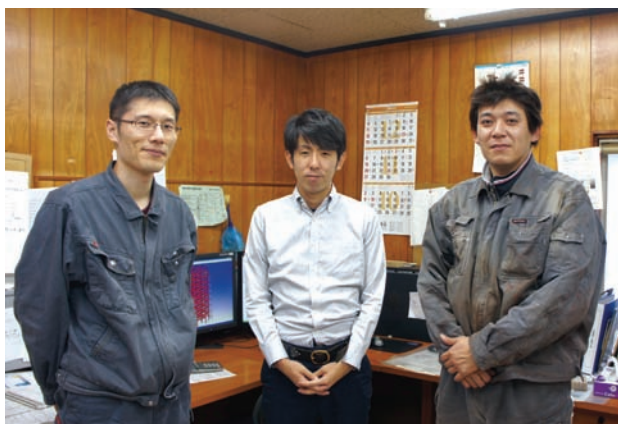


立体駐車場など複雑な物件や、 修正・変更時に魅力を発揮！ S/F REAL4、いよいよ秋から本格的に活躍中！ 株式会社押水鉄工（石川県）



▲設計担当の皆さん

継手詳細設定で簡単にできる。ガセットなどの複写もほとんどできる。だから、よく使っています」

■修正忘れを防げる図面管理機能

前の図面と新しい図面部分とでは色を変え、新しい部分が浮き上がって表示できるようにになった「図面管理機能」も便利のことだ。

「視覚的に分かりやすいので、修正の再確認ができ、修正し忘れを防げます」

また、図面の修正・変更時、柱や梁の位置が動くと、ライナーでは、文字の重なり、寸法線の位置、引き出し線などは、一から汎用CADで再作図する必要があった。

その点、REAL4では「図面編集機能」を使えば、文字や寸法の手動編集がシステ

S/F REAL4をいよいよ2011年秋から本格的に使い始めた、石川県中部、宝達志水町にある「株式会社押水鉄工」を訪ねた。

同社は1993年の「S/Fコミニケーショ」に「登場いただいた、本誌再登場としては初のユーザー様。石川県で、いち早い溶接ロボットの導入やCAD/CAM化など、これまで効率化に積極果敢に取り組んでこられた会社である。

■覚えれば覚えるほど早くなる！

「いいですね！覚えれば覚えるほど、ライナーより早く入力できるし、手直しの手間も軽減されました。REAL4、面白い兆しが見えてきて、これはいいと思いますよ！」

と、うれしい言葉を聞かせてくださったのは同社社長のご長男で、石川県のFABのこれからを担う若手の1人、上多宣之専務だ。同社にS/F REAL4を導入していただいたのは昨年のこと。そして初めてREAL4を実際に使ったのが2011年春。立体駐車場の見積もり物件で上多明男社長が使ってみて、それまで、まだ不足していると感



▲上多宣之専務

「複雑な物件ほど、最初のうちは未確定なことが多いので、修正・変更が出た後、汎用で直す手間が減るのは、とても助かります」

そのほか、REAL4について、

「ライナーでは、梁の入力時、大梁・小梁は別々のものだったけれど、REAL4では、区別なく入力できるようになったのも便利です。

工区分けも、しやすくなりましたね。特に大きな物件にいい。ライナーでは、工区分けはキープラン画面で設定するようになっていたので確認しづらかったんですが、REAL4では、平面図で配置した梁や柱を見ながら設定できるようになったので便利です。階別に色分けもできるし、いいですね」

■専用：汎用が8：2に！

「REAL4は、専用CADではあるけれど、全体的に汎用性が高くなつて自由度が上がったと感じています。だから、難度の高い物件でもやってみようという気持ちが前よりもっと出てきました。

ライナーもかなり頑張つて使っていました。が、そのときの専用：汎用を使う割合が6：4。REAL4だと、それが8：2になった気がします」

管理資料についてはライナーのときもしっかり活用していたのですが、REAL4では、必要な情報だけ選べたり、使いやすいうに順番を変えたり、管理資料のレイアウ

じていたREAL4の機能やデータ面を確かめ、「よし、これなら」と手応えを感じ、ゴーサインを出してくださったのだそう。

以来、受注した物件で上多専務と2人の設計スタッフ陣がREAL4を使うようになり、11月取材時には、すべての物件を、REAL4を使って進行させてくださった。

■便利！3Dリアルタイム表示で複雑なおさまりをすぐチェック

REAL4の最大の魅力の一つは、入力中でもリアルタイムで3Dビューアでの表示ができるようになったことにある。

ライナーの場合、データ処理に時間がかかり、3Dの表示はできてもタイムラグが生じ、また、細かいおさまりまで表示できない部分もあり、改良が待たれていた。その点、REAL4について、

「おさまり、干渉がすぐ3Dで確認できるの、いいですね！ややこしいおさまりのときなど、助かります」と上多専務。

■スロープの入力が簡単に！

ライナーでは、平面で入力した状況を軸面で確認する際、システムがデータ再構築を行う必要があった。REAL4では、その再構築が廃止され、平面図と軸組図がリアルタイムに連動するようになったことも魅力の一つだ。

「今、9階建ての物件をやっているんですが、梁の位置を上から下までずらしたい時など、軸組図でも平面図でも、自分が思ったときに変更できるようになったの、いいですね」

ト変更が自由になったことについてもご紹介すると、「それは便利ですね！これからぜひ活用してみます」

■製作に早く掛かれるようになった

システムは生きもの。これからも進化を続けるREAL4の今後に望むことを伺った。

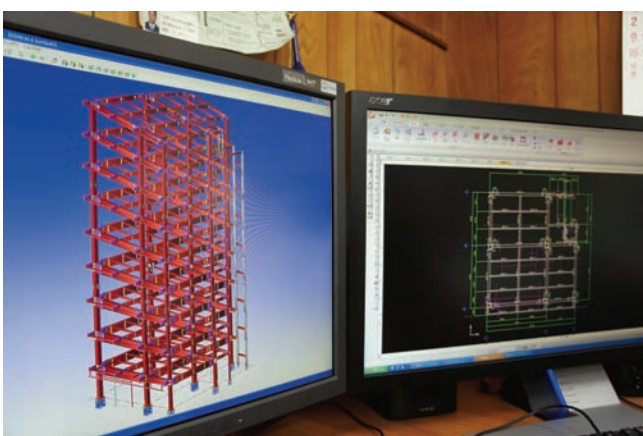
「ライナーでできていたことで、できない部分も今はまだあるし、アールへの充実も望んでいます。が、この感触ならそれも十分カバーできると感じています。

この仕事はいかに早く製作に掛かれるか。CADが単なる図面の作図だけじゃ意味がない。その点、REAL4になって、手直しにかかる時間が軽減され、工場に渡す資料を早く出せて、製作に早くかけられるようになりました。今後のREAL4の成長、大いに期待しています！」



▲事務所

▼工場



▲S/F REAL4

REAL4では、軸組み図での梁入力に対応できるようになったため、階をまたいだ梁を簡単に入力できるようになったことについても、

「2階と3階が重複するようになるとかスロープとか、簡単にできる。便利です」

■修正変更の負担、大幅軽減へ

どんな物件も図面変更が絶えないのが各社共通の悩み。REAL4では、そうした修正・変更の手間の軽減化を図った点も大きな特徴で、その一つが継手の詳細設定・変更修正を簡単にできるようにした「継手詳細設定」機能だ。

「以前はマスタに戻って二つずつ変更・追加・入れ替えをしないといけなかったのが、今は

株式会社押水鉄工

〒929-1343
石川県羽咋郡宝達志水町小川3216
TEL 0767-28-2261
規模 Mグレード認定工場
昭和47年5月創業
代表取締役 上多明男

◆導入システム◆
〈S/F REAL4〉
TYPE2
積算連動
見積積算
最適取合